

1. 農政の動き

◆令和4年産米の相対取引価格・数量について（令和4年9月）

農林水産省は、令和4年産米の「相対取引価格・数量（令和4年9月）」について取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/221018.html>

◆「近江日野産日野菜」（滋賀県）を地理的表示（GI）として新たに登録

農林水産省は、10月21日（金曜日）に滋賀県の「近江日野産日野菜」を地理的表示（GI）として、特定農林水産物等の名称の保護に関する法律（地理的表示法）に基づき、登録しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
http://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/221021.html

◆「多面的機能支払交付金の中間評価（令和4年10月）」について

農林水産省は、「多面的機能支払交付金の中間評価（令和4年10月）」を取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tamen/221026.html>

◆令和4年度我が国周辺水域の水産資源に関する評価結果が公表されました（ズワイガニ・マダラ・ソウハチ・ムシガレイ・スケトウダラ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マダイ・ニギス）

国立研究開発法人水産研究・教育機構において、令和4年度の資源評価対象魚種192魚種のうち、ズワイガニ・マダラ・ソウハチ・ムシガレイ・スケトウダラ・カタクチイワシ・ウルメイワシ・マダイ・ニギスの9魚種18系群の評価結果が取りまとめられました。

詳しくはこちら（水産庁ホームページ）
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/221025.html>

2. お知らせ

<表彰>

◆令和4年度（第23回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」受賞者の決定について

農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会は、令和4年度（第23回）「民間部門農林水産研究開発功績者表彰」について、農林水産大臣賞をはじめ各賞受賞者を決定しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221014_11.html

◆令和4年度（第18回）「若手農林水産研究者表彰」受賞者の決定について

農林水産省は、令和4年度（第18回）「若手農林水産研究者表彰」について、農林水産技術会議会長賞の受賞者を決定しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221014.html>

◆第13回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」受賞者の決定について

農林水産省は、第13回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」の受賞者（ゴールド賞3名、シルバー賞2名、ブロンズ賞8名）を決定しました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/gaisyoku/221019.html>

◆令和4年度「漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰」受賞者の決定について

水産庁は、令和4年度「漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰」の受賞者を決定しました。

詳しくはこちら（水産庁ホームページ）
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kikaku/221021.html>

<募集・案内>

◆スマート農業推進フォーラム2022 in 近畿～中山間地域における「みどりの食料システム戦略」の推進に役立つスマート農業技術～の参加者募集について

近畿農政局は、令和4年11月24日（木曜日）に「スマート農業推進フォーラム2022 in 近畿」を開催します。10月21日（金曜日）から11月17日（木曜日）まで申し込みを受け付けています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/221021.html>

◆農業女子アワード2022の募集を開始！

農林水産省は、農業における女性や若者の活躍を推進しています。今後の食・農・くらしの活性化に向けたビジネスアイデアコンテストである「農業女子アワード2022」の開催に向けて、10月17日（月曜日）から12月16日（金曜日）まで募集を行います。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/kourei/221017.html>

◆「雇用就農資金」第3回目の募集を開始します（令和5年2月事業開始分）

農林水産省は、49歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を助成する「雇用就農資金」を実施しています。今般、令和5年2月からの事業開始を希望される方を対象として、10月26日（水曜日）から12月1日（木曜日）まで第3回目の募集を行います。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/221026.html>

◆京の食文化を次世代の食育につなぐ「料理&トークショー」の開催について

日本の食文化が息づく京都では、人々の交流によって独自の環境がはぐくまれ、その影響を受けて育ち、活躍する著名人を輩出してきました。その食を、次世代に継承することは有益と考えられるものの、文化と聞いて高い敷居を感じ、情報が広く行き届かない可能性もあります。

このため、11月23日（祝・水曜日）に京都にゆかりのある著名料理人を迎え、食文化を次世代の食育につなぐための「料理&トークショー」を実施します。10月21日（金曜日）から11月20日（木曜日）まで募集を行いますので、食育や食文化に関心のある多くの方々のご参加をお待ちしています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/221021.html>

◆「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」の開催について

農林水産省は、2022年11月に全国5会場において、「食品表示ミス防止・食品トレーサビリティ推進に関するセミナー」を開催いたします。大阪会場では、11月25日（金曜日）に開催いたします。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/221024.html>

◆「グリーンな栽培体系実践セミナー」の開催について

農林水産省は、「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を組み合わせた「グリーンな栽培体系」の取組を学ぶ実践セミナーを11月22日（火曜日）に開催します。環境にやさしい栽培技術の講演とスマート農業技術の実演を行います。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/gizyutu/221013.html>

◆11月は「和ごはん月間」、もっと気軽に和食を楽しもう！～プロジェクト初 大阪駅でイベントを開催～

「和食の日（11月24日）」を含む11月は、官民協働「Let's! 和ごはんプロジェクト」の集中活動月間である「和ごはん月間」です。今年もプロジェクトメンバー間の連携企画、各種イベント等の他、11月24日（木曜日）、25日（金曜日）にプロジェクト初の事務局主催のリアルイベントを大阪駅地下街で開催します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/221028.html>

◆11月1日から令和4年度全国ジビエフェア開催！

農林水産省では、ジビエ（野生鳥獣肉）の全国的な認知向上、普及、需要拡大に向けた取組を行っています。その一環として、ジビエ等に対する消費者の関心を高めるとともに、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ等商品を販売する店舗等の情報を特設サイトにとりまとめてPRする「全国ジビエフェア」を11月1日より開催します。ぜひ、この機会にジビエを味わってみませんか。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/221024.html>

◆近畿の食料・農業・農村（主な動向）－近畿食と農まるごとブッカー（令和3年度版）を掲載しました

令和4年10月19日に、近畿農政局管内の食料・農業・農村分野に関するデータや主要施策、取組事例をとりまとめた「近畿の食料・農業・農村（主な動向）」を公表しました。

近畿の食と農について、理解・関心を深めていただき、今後、各地域での食料・農業・農村分野の様々な取組をさらに進めていくための参考としてご活用ください。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/wpaper/index.html>

◆近畿耕畜連携イニシアチブ「令和5年産の水田飼料作のマッチング活動を開始しました」

近畿農政局では、令和4年10月12日（水曜日）に、管内各6府県の府県庁（出先機関、普及組織含む）、市町村、地域再生協議会、関係団体等にご参加いただき、「近畿耕畜連携イニシアチブ連絡会議」をオンラインにて開催しました。
これを受け、昨年来の飼料高騰によって国産飼料へのニーズがより高まっていることを踏まえて、「水田飼料作のマッチング」活動を開始しました。
水田飼料について、畜産農家の皆様の”使いたい量”を把握し、その要望にできる限り応じられるよう、耕種農家の皆様にご協力いただくことで、国産飼料の供給量拡大を目指します。
令和5年産の水田飼料の畜産農家の需要見込みや耕種農家の供給希望に関するお問い合わせを10月12日（水曜日）から受付けています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）
<https://www.maff.go.jp/kinki/seisaku/seisan/tikusan/kouchiku-renkei.html>

◆お店で見つけて！温室効果ガス削減の「見える化」ラベル

栽培時の温室効果ガス削減効果を星の数で実証的に表示（見える化）したコメ、トマト、キュウリが、この秋お店に並びます。
これらの農産物について、生産者の環境配慮の取組や全国の販売先がわかるWEBサイトも開設しました。
みどりの食料システム戦略では、環境にやさしい持続的な消費の拡大を目指しています。
星が付いたコメ、トマト、キュウリを選んで、「温室効果ガスを減らすおかいもの」に取り組んでみませんか。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/221026.html

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真により紹介しています。

◇滋賀県長浜市 認定NPO法人つどい
暮らしやすいまちをつないでいく
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20220926.html>

◇滋賀県東近江市 NPO法人愛のまちエコ倶楽部
食とエネルギーの地産地消を目指して！
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20220926-1.html>

◇京都府亀岡市 まる曾れい仙の郷 組織長 酒井美明さん
営農組織を立ち上げ「まる曾玉ねぎ」を復活、さらに、栽培グループ等を法人化！
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/Maruso220826.html>

◇京都府京丹後市 株式会社自然耕房あおき代表取締役 青木美恵さん
自然の恵みを生かした環境を後世に残したい
<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/Aoki220921.html>

◇大阪府枚方市 学校法人村川学園大阪調理製菓専門学校

自治体と調理製菓専門学校がコラボした牛乳でスマイルプロジェクト！！
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2022photo/19_gnsmile/gnsmile.html

◇大阪府東大阪市 大阪府立枚岡樟風高等学校
農業女子プロジェクトメンバーによる出前授業
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2022photo/20_hiraoksh/hiraoksh.html

◇兵庫県神戸市 西食品衛生協会
記念シンポジウムに出席しました
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2022/20221004.html

◇兵庫県淡路市 株式会社池上農場代表取締役 齋藤亜紀美さん
特別栽培たまねぎ・美味しさの秘密は「竹粉」
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2022/20221020.html

◇奈良県三郷町 株式会社農業公園信貴山のどか村
よしもと住みます芸人による取材
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>

◇滋賀県大津市 滋賀県子実コーン組合・滋賀県
近畿耕畜連携イニシアチブ現地調査～滋賀県子実コーン組合との意見交換～
<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/221020.html>

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

10月17日、となりの近畿「京たんご梨de女子会」が配信されました。

5. 統計情報

◆作物統計調査 令和4年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/sakkyou_kome/suiriku/r4/yosou/index.html

◆生産者の米穀在庫等調査結果（令和4年6月30日現在の在庫量）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/kome_zaiko/r4_m6/index.html

◆作物統計調査 令和4年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sakumotu/menseki/r4/kajutya/index.html

◆特定作物統計調査 令和4年産「い」の作付面積、収穫量及び畳表生産量（熊本県）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

